

農業貿易特論 (2単位)

担当者氏名 金田憲和

◆学習・教育目標

世界の農業貿易の現状を紹介し、さらにその経済学的分析のために必要な国際貿易理論を解説する。はじめに部分均衡分析の手法により、一つの財の国際市場の価格メカニズムを解説し、食料貿易に応用する。次に、一般均衡分析の方法により、2財以上のケースの理論を解説し、再び食料貿易に応用する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業貿易 貿易理論 部分均衡分析 リカード・モデル
H0・モデル _____ _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	イントロダクション	イントロダクション	各回に準備すべき事項は、前回の授業で指示する。
2	部分均衡の概念	部分均衡の概念を説明する	
3	余剰分析の方法 1	生産者余剰の概念を説明する	
4	余剰分析の方法 2	消費者余剰の概念を説明する	
5	貿易政策 1	IQ 制度を説明する	
6	貿易政策 2	関税政策を説明する	
7	貿易政策 3	不足払い制度を説明する	
8	一般均衡の概念	一般均衡の概念を説明する	
9	リカード・モデル 1	リカード・モデルについて説明する	
10	リカード・モデル 2	リカード・モデルについて説明する	
11	H0 モデル 1	ヘクシャー・オリーン・モデル	
12	H0 モデル 2	(H0 モデル) について説明する	
13	その他のモデル 1	他の貿易モデルについて説明する	
14	その他のモデル 2	他の貿易モデルについて説明する	
15	まとめ	まとめ	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

プリントを配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

食料環境経済学を学ぶ/東京農大食料環境経済学科/筑波書房 (2007)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート 1 回 30%、期末試験 70%で評価。

◆その他受講上の注意事項

特になし。